

「眩暈(めまい)」は…「げんうん」とも読めるんです⑥

今回のフジタガンカニュースも、前月号に引き続き『眩暈(めまい)』についての解説です。前回までの引用文は「日本めまい平衡医学会」という会のホームページから引用したもののなのですが、その会のメンバーは耳鼻咽喉科のドクターが中心のようです。もう一つの「めまい」を主に扱うグループである「脳神経外科(もしくは神経内科)」の先生方からの解説も欲しいところです。そこで次の引用として「脳神経外科 山本クリニック」さんのホームページに掲載されている内容、タイトル「めまいがします」という文章を引用してみたいと思います。⑥

めまいの原因

本当のめまいとは、見ている物が回る、あるいは自分自身が回っている感じがすると言う症状を言う

本当の「めまい」とは、見ている物が回る、あるいは自分自身が回っているような感じのする発作のことを言います。患者さんは「急に天井が回った」、「窓や天井が流れて見えた」などと訴えられることがしばしばです。この「回転性のめまい」の発作を起こされている患者さんを、その時点で診察しますと、眼振(がんしん)と言って、「目のたま」が実際に左右に、小刻みに揺れています。すなわち発作の時には実際に目が回っている訳です。そして、この眼振すなわち目の揺れ方から、どこの部分に病気があるかが分かります。なので、この目の動きは大切な症状と言えます。ただ、めまいを起こされている方の診断は専門医でないとなかなか難しいことから、めまいの患者さんを診たら「めまいがする」とおっしゃるお医者さんも多いようです。なお、このような回転性のめまいを起こされている時には、身体がふらついてまともに立てないことが多く、あるいは立てても真っ直ぐに歩けないため、しばしばささえを必要としたりします。

平衡感覚の経路に障害が起こるとめまいが起こる

体のバランス、すなわち自分の身体が真っ直ぐになっているか、傾いているかなど平衡感覚に関する情報は、主に、耳の奥の前庭(ぜんてい)と言う部分にある三半規管が検出し、そこから脳に伝わります。しかし、私たちの脳は、この三半規管からの信号ばかりではなく、それ以外に、例えば、目からの視覚情報、手足、首などの筋肉や関節からの位置に関する情報などを併せて、自分の体の運動や姿勢の状態を逐一、正確に判断しているのです。ところが、そのうちのどこかに不具合が起こり、そこから異常な誤った情報が脳に伝えられた場合、それは、ほかのところからくる情報と、うまく一致しません。このような運動や姿勢に関する情報のアンバランス(不一致)があると、脳は、一瞬、自分の体の運動や姿勢の状態がどうなっているのか分からなくなってしまいます。この際に、いわゆる「めまい」を自覚することになります。つまり、めまいとは自分の体の位置や運

動を誤って感じた際に起こる症状なのです。



今回の引用文はここまでです。さて、7月初めは臨時休診させて頂きご迷惑をお掛け致しました、大変申し訳ありませんでした。実は第5回涙道涙液学会(その他の学会と合同で「フォーサム」というタイトルの眼科の全国学会の一部@東京国際フォーラム)で、会長の後藤英樹先生からの依頼を受けてシンポジウム講演をさせて頂きました。内容は、当院で実施している「小田島式眼瞼下垂手術」の実践についてでした。周囲は眼科界のスーパースターだらけの中、イチ開業医代表として頑張ってきた(笑)。大変貴重な経験の機会を与えて頂いた後藤先生はじめ諸先生方には感謝の限りです、有難うございました。写真は講演会場でのスナップショットです、僕が緊張している雰囲気は伝わるでしょうか? クリニックの近所で私服時に患者さんに会うと…「白衣じゃないから分からなかったわ!」なんて言われることは日常茶飯事です、スーツ姿の僕の写真はもっと貴重かも? しれませんね(^_-)☆。



2016年夏期休診日程

	8/13	8/14~21	8/22
AM	○	×	○
PM	×	×	○

※×…休診 ○…通常診療

今月のお知らせ

本年度の夏期休診の日程は左上の通りです。ご迷惑をお掛けしますが宜しく御願ひ致します。暑い日が続きますが、水分補給はコマメに…熱中症対策の基本だと思えますよ。(^^)



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
P-Vision

☎ **042 (645) 0575**
☎ **042 (642) 2911**